

大学で“社会福祉”を 専攻すると どんなことが学べるの？

天理大学

人間学部 人間関係学科

社会福祉専攻のご案内

 YouTube で模擬授業を
ご覧いただけます



天理大学 社会福祉 模擬授業

検索



「社会福祉」って聞くと、どんなイメージですか？

少し、書き出してみてください…



「社会福祉」は、生活の困りごとをサポートすること

例)病気やケガをして、今まで通り生活できない…医療保険、障害者福祉など

お金がない…生活保護制度、生活困窮者制度など

社会福祉は、人間が、生活上の困難や問題を解決し、豊かな自立生活を実現することができるように、直接的な対人援助を軸として、制度やサービスの活用、および本人と周囲や社会との関係づくり、環境醸成を図る援助・実践のことをいいます。

ソーシャルワークとは、社会福祉の実践方法・技術のことをいいます。ソーシャルワークの専門的な援助技術・倫理・価値を身につけた**ソーシャルワーカー**は、問題を抱えた本人の特性や強みを活かしながら援助していきます。



社会福祉の2つの国家資格－ソーシャルワーカーとは－

国家資格「**社会福祉士**」「**精神保健福祉士**」を取得し、地域社会で暮らす上での困りごとの相談ごとを受けているのが、**ソーシャルワーカー**です。

社会福祉士は、子どもや女性、外国人、病気・障害のある人など、生活の中での困りごとを抱えた人の援助や、社会参加への相談援助をおこないます。また、生活の困りごとの原因となっている社会問題の解決に向けて、社会資源の開発や連携をおこないます。

活躍している場所：病院、役所、学校、社会福祉協議会、
子ども・障害者・高齢者施設
警察、更生保護施設、自立支援施設など



精神保健福祉士は、うつ病や統合失調症、認知症、依存症といった心の不調により、生きづらさを抱えた人たちへの相談援助をおこなう専門職です。近年では、自殺対策や、ひきこもり支援など幅広い分野で社会問題の解決に取り組んでいます。

活躍している場所：病院・クリニック、役所、精神保健福祉センター、就労支援施設
ひきこもり支援施設など

大学では、国家資格の取得に向けて、医学、心理学、障害への理解、子どもの発達といったものだけでなく、生活の困りごとの背景にある様々な**社会問題**についても学んでいきます。

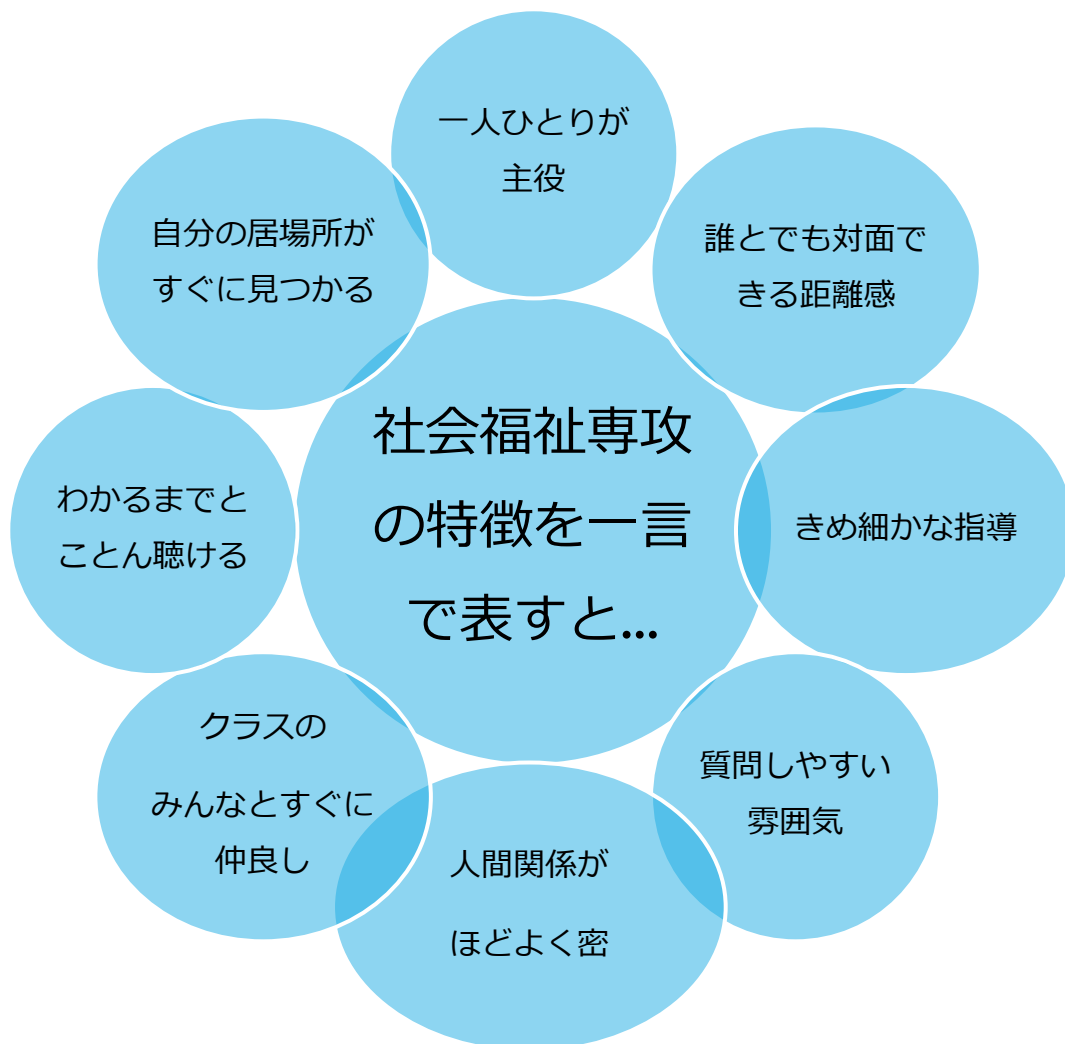


天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻の特徴

○一学年の定員 30 名の少人数制

少人数制のメリットを活かし、理論学習のみならず、工夫を凝らした実践教育に力を入れています。ソーシャルワーク実習・実習指導、ソーシャルワーク演習、社会福祉学演習などの科目において、個別指導やグループ学習を取り入れた授業を行っています。その他の講義科目でも可能な限りグループディスカッションなどを行い、きめ細かな指導を行っています。

○先輩たちからみた社会福祉専攻の特徴



社会福祉専攻カリキュラム

社会福祉専攻では、**社会福祉士・精神保健福祉士養成カリキュラム**に準じて、学年ごとに、社会福祉の諸領域における理論や歴史を学ぶ**講義科目**を各年次でバランス良く配置しています。また、**双方向参加型授業の演習・実習科目**を入学時から卒業年次まで段階的に配置しています。

とくに、1～4年次に「社会福祉学演習」や「ソーシャルワーク演習」などの演習科目を配置し、学生の主体的な学びを推進するために、初年次導入教育から卒業論文執筆に至るまで**きめ細かな少人数制の教育体制**を採用しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
講義科目 (理論、制度・サービス、方法・技術)	ソーシャルワーク論 1・2 社会福祉概論1・2 高齢者福祉論 障害者福祉論 児童福祉論 ほか	ソーシャルワーク論 3・4 社会保障論1・2 地域福祉と包括支援体制1・2 医療福祉論 公的扶助論 精神医学と精神医療1・2 ほか	ソーシャルワーク論 5 社会福祉調査法 ソーシャルワークの理論と方法(専門) ほか	ソーシャルワーク論 6 福祉経営論 ほか
社会福祉学演習	社会福祉学演習 1・2	社会福祉学演習 3		社会福祉学演習 4・5
ソーシャルワーク演習 精神保健福祉援助演習		ソーシャルワーク演習 1・2	ソーシャルワーク演習 3・4 精神保健福祉援助演習1	ソーシャルワーク演習 5 精神保健福祉援助演習2・3
ソーシャルワーク実習・実習指導 精神保健福祉援助実習・実習指導		ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習指導1	ソーシャルワーク実習2 ソーシャルワーク実習指導2・3 精神保健福祉援助実習指導1	精神保健福祉援助実習 精神保健福祉援助実習指導2・3

演習、実習

○ソーシャルワーク演習・精神保健福祉援助演習

この授業では、実習や対人援助職として必要な人間理解や倫理観、具体的な援助方法を、事例検討、ロールプレイ、グループディスカッション、企画検討などを通じて学びます。

相談援助に必要なコミュニケーション技法を身につけ、ソーシャルワーカーに求められるディスカッションの力や、プレゼンテーションの技術を高めます。

○ソーシャルワーク実習 1・2（社会福祉士）

原則として、2年次の秋学期に週に1度、現場実習をおこない、3年次の夏季休業期間に約4週間の実習をおこないます。学生本人の希望に沿って、社会福祉施設（高齢者、障害者、児童）や、医療機関、社会福祉協議会などにそれぞれ配属され、現場のなかで必要な知識や技術を学びます。

○精神保健福祉援助実習（精神保健福祉士）

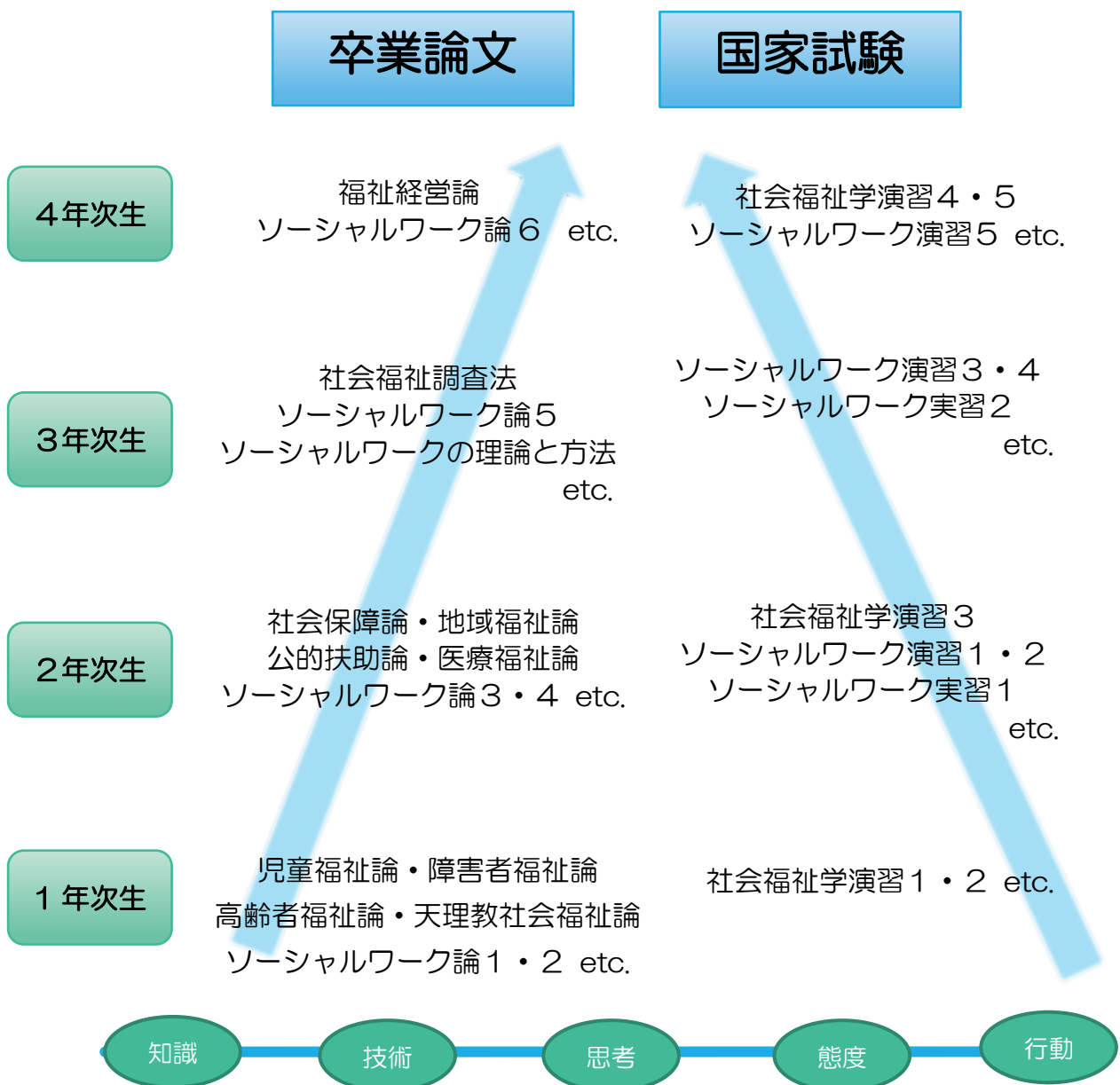
3年次あるいは、4年次の夏季休業期間に約5週間の実習を行います。精神科病院や精神障害を抱えた方々が利用する施設に配属され、当事者の生活上の相談や社会復帰支援のための知識や技術を学びます。



「社会福祉学演習」（1年次～4年次卒論ゼミ）

社会福祉専攻では、社会福祉を学ぶためのスキルや研究方法を習得するため、1年次から「社会福祉学演習」を開講しています。4年次は、研究領域ごとに各教員が担当するクラス（通称「卒論ゼミ」）に分かれ、卒業論文執筆に取り組みます。

4年間の学びの積み上げ



社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験に向けたサポート

社会福祉専攻の国試合格率は、全国平均を超える割合で推移してきました(表1参照)。しかし、年によって変動が見られることも事実です。これは、合格への道のりがやさしいものではないことを示しています。そのため社会福祉専攻では、以下でポイントとして紹介している内容を中心に、様々なサポートを行っています。

Point1 小集団で学び合える環境づくり

国家試験の受験を希望する学生同士で5~6名のグループをつくり、過去問題を解き、解説しあうなどの環境づくりを行っています。また、教員によるサポートも随時行っています。



Point2 無料の対策講座を実施

各専門科目を担当している専任教員が、無料の対策講座を行っています(多くの大学では、有料の対策講座受講を勧めています)。また卒業生の合格体験談を聴く会なども実施しています

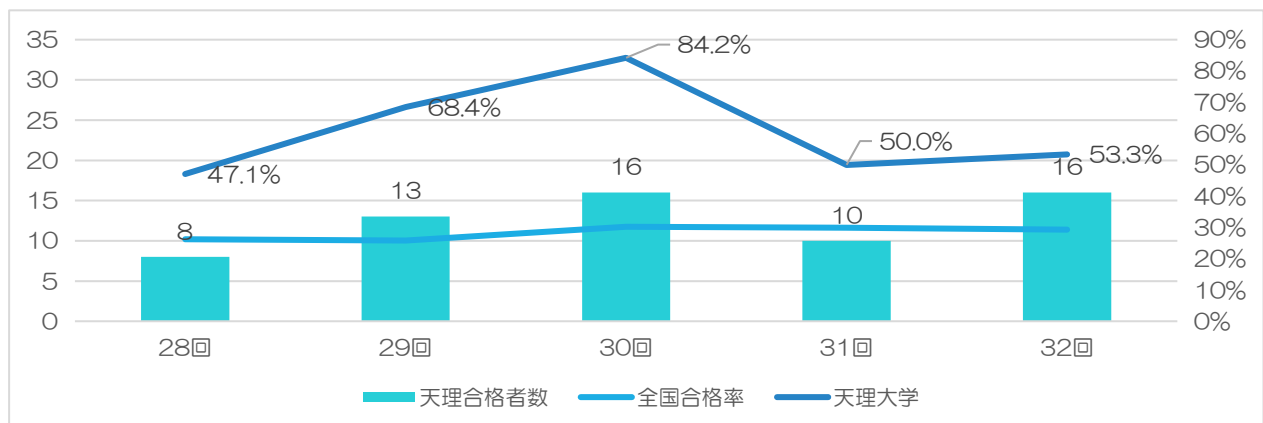


Point3 国試対策に必要な資料を完備

社会福祉専攻には共同研究室があり、ここに国家試験対策で必要となる最新の過去問題や解説本、テキストなどを使用できる環境が整えられています。



◎ともに支えあう学生同士の学習活動、少人数制教育による教員とのコミュニケーションなど、こうした**学びやすい環境**が整えられています。しかし、資格取得はあくまでもスタートライン。卒業後も、それぞれの現場で各々の専門性を磨いていくことが重要です。



卒業論文

社会福祉専攻では、「卒業論文」（4年次）が必修になっています。

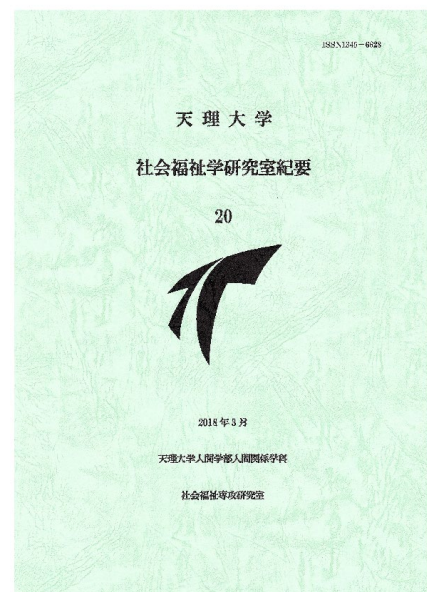
学生たちは、4年間の学習・研究の集大成として、それぞれのテーマを設定し研究活動を遂行し、完成を目指します。

【卒業論文題目の一例】

- ・高齢者サロンが地域づくりにおいて果たす役割と課題
 - ・障害者施設における虐待の発生原因と防止策について
 - ・超高齢者の終末期における支援 —本人が望む最期を迎えるために—
 - ・児童虐待の予防支援に関する研究 —母子健康包括支援センターの活動に焦点を当てて—
 - ・ノーマライゼーション社会を目指すためには —障害受容に焦点をあてて—
 - ・地域における子育て支援の必要性と課題
- など

『天理大学社会福祉学研究室紀要』の発行

社会福祉専攻では、毎年3月に『天理大学社会福祉学研究室紀要』を発行しています。教員の研究論文や授業実践報告、学生の卒業論文概要および優秀卒業論文、社会福祉専攻の年次報告などを掲載し、社会福祉専攻の教育研究活動の成果を学内外に発信しています。



進路

社会福祉専攻の卒業生は、社会福祉領域を中心に多方面で活躍しています。進路選択については、大学キャリア支援部と社会福祉専攻がサポートしています。

【主な進路先】

- ・公務員（奈良県・大阪府・兵庫県・和歌山県など）
- ・都道府県および市町村社会福祉協議会
- ・高齢者、障害者などの社会福祉施設、地域包括支援センター
- ・医療機関
- ・警察・更生保護施設（少年院、保護観察所など）
- ・企業（福祉系企業を含む）
- ・大学院などへの進学
- ・天理教教会本部関係 など

教育研究環境設備

社会福祉専攻には、「共同研究室」と「社会福祉実習室」があります。共同研究室には、社会福祉関係の文献や雑誌、パソコン設備などがあり、教員・学生の研究活動の場として機能しています。共同研究室と社会福祉実習室は、演習や実習指導などの授業にも活用しています。



教員紹介

教授：松田美智子

担当科目：高齢者福祉論、医学概論、ソーシャルワーク実習指導ほか

コメント：専門は高齢者福祉です。老化に伴う生活障害や者認知症ケアについて研究しています。人は生きている限り、誰しも年をとります。良い年齢の重ね方や、高齢者を取り巻く社会環境の整備やケアに携わる人々への支援について考えています。

教授：渡辺一城（社会福祉専攻主任）

担当科目：地域福祉と包括的支援体制、天理教社会福祉論ほか

コメント：「地域福祉」と「天理教などの宗教及び信仰者による社会福祉活動」について研究しています。生活に困難を抱える方々への支援には、制度や専門職による援助だけではなく、地域住民による自発的な支え合い活動が欠かせません。支え合いを実践できるコミュニティをどう創造していくのか、そこに宗教や信仰がどうかかわっていきけるのかを考えています。

准教授：森口弘美

担当科目：ソーシャルワーク論、精神保健福祉援助演習ほか

コメント：研究のテーマは、自分とは異なる人を受け入れ共に生きていく社会を意味する「ソーシャルインクルージョン」です。社会福祉は、高齢者、障害者、子ども、セクシャルマイノリティなど、社会的に弱い立場の人に関わろうとしますが、「助けてあげる」という上から目線ではなく、「共に生きる」とはどういうことかを研究しています。授業でもこの問いについて、学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

准教授：北垣智基

担当科目：ソーシャルワーク演習、社会福祉調査法ほか

コメント：社会福祉現場で働く人の労働環境や、社会福祉事業体の運営管理について研究しています。他者を支援することの大切さは、誰もが認めるでしょう。しかし、そう簡単には実現できない現実も数多くあります。だからこそ、専門的知識・技術が求められます。一緒に学び、考えていきましょう。

講師：深谷弘和

担当科目：社会福祉概論、児童福祉論、社会福祉学演習ほか

コメント：専門は、児童福祉、障害者福祉です。生きづらさを抱えた人のよりよい生活を考えることは、全ての人々のよりよい生活を考えることにつながっています。社会福祉を学ぶということは、生活に困っている人を通して社会や自分自身を見つめることです。積極的に社会に働きかけていくソーシャルワーカーの役割を発信していきたいと考えています。

天理大学人間学部人間関係学科 社会福祉専攻

〒632-8510 奈良県天理市柚之内町 1050

WEB ページ <https://www.tenri-u.ac.jp/hu/wf/index.html>

